

教科	家庭	科目	家庭基礎	履修学年	2年
単位数	2単位	科	全学科	担当者	

教科・科目の目標	工業高校としての教育目標（創造・人と技）を視点として生活技術力・表現力・創造意欲の向上を目指し、生きる力の育成をめざす。
使用教科書・教材等	教科書 「家庭基礎」 東京書籍
評価の観点とその方法	<p>「知識および技能」「思考力、判断力、表現力」「主体的に学習に取り組む態度」を観点として評価する。</p> <p>評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査、実験・実習等実践レポート、実習の作品、提出物、授業時の観察で総合的に判断する。
学習方法・学習形態	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを用い、基礎的な知識と技術の習得に取り組む。 ・ 被服、調理等の実験・実習はグループ学習を実施する。 ・ 校外学習として地域と連携調整して体験学習を実施する。
履修者へのメッセージ	<p>授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に授業には参加し、レポート等の提出物は必ず提出すること。 ・ 実験、実習は器具等の取り扱いを慎重に行い安全に正確に行うこと。

令和5年度学習進度予定表

期	月	学 習 項 目	学 習 内 容	到 達 目 標
一 学 期	4月	オリエンテーション 【生涯を見通す】 〈青年期の課題〉 自分らしい生き方・家族について	一年間の学習内容について理解する。SDGSについて理解する。 青年期とは一生の中でどういう時期か、この時期における生き方や、さまざまな家族のかたちについて考える。 子どもの育つ力と発達段階を知る。 遊び、基本的な生活習慣の形成、食事、健康管理について学ぶ。 子どもの愛着の形成と親としての成長を理解する。	コミュニケーションの大切さを理解する。自分にできる持続可能な目標を考え、実践していく。 家族の役割について理解する。 家庭保育・集団保育、子育てのための社会的支援について理解する。 期末考査
	5月	「人生100年」時代を生きる 【子どもと共に育つ】 青年期の責任		
	6月	母体の健康管理 子どもの育つ力 これからの保育環境		
	7月			
夏季休業				
二 学 期	9月	【衣生活をつくる】 被服の役割を考える 高校生と衣生活 被服の保健衛生的機能 被服管理、再資源化	各ライフステージに適した衣服の役割、適切な着装、衣生活の管理について考えを深める。 衣服の購入から廃棄、環境とのかかわりなど考え、工夫していく力を養う。 自分自身の食事について現状を把握する。 食品衛生と安全性について考え、基礎的な調理の基礎知識と技術を学ぶ。 包丁の持ち方、切り方、計量の仕方を理解する。 調理実習を行う。 高齢社会の現状と問題について把握する。高齢者の生活を理解し介助の知識を身につける。	被服材料の特徴や種類について理解する。 日常生活における被服の選択や管理に活用できる知識・技術を身につける。 日常の食生活を振り返り、改善点を考える。 食品の栄養的特徴を理解する。 マナーを守って食事をすることができる。食糧問題に関心をもつ。 調理の基礎を理解し、基本的な調理ができるようになる。 高齢者を支える家族の役割、福祉サービス、福祉施設等について理解する。 介助方法の実習を行う。 期末考査
	10月	【被服実習】 【食生活をつくる】 青年期の食生活と課題		
	11月	食事と栄養・食品 食品の選択と安全 調理の基礎 テーブルマナー		
	12月	【調理実習】 【超高齢社会を共に生きる】 少子化・高齢化の進行 高齢期の健康と自立 誰もが暮らしやすい社会		
冬季休業				
三 学 期	1月	【共に生き、共に支える】 私たちの生活と福祉 【経済生活を営む】 情報の収集・比較と意思決定	社会保障制度や社会福祉、地域社会の役割を理解する。 成年年齢の引き下げにより契約の重要性をより深く理解し、自立した消費者となれるよう知識を身につける。家計、家計資産のマネジメントを理解する。 自ら問題点を見つけ出し、解決策を考える能力を養う。	高齢者を取り巻く社会環境を理解し、生涯を通して家族・家庭を支える社会的支援の知識を得る。 消費者の権利を理解し、自覚を持って責任ある行動をとれるようになる。 これからの自分に何ができるか、何をしていくべきかを考える。 学年末考査
	2月	消費者の権利と責任 【持続可能な生活を営む】 これまでの世界と日本の取り組み		
	3月	【ホームプロジェクト】		
春季休業				